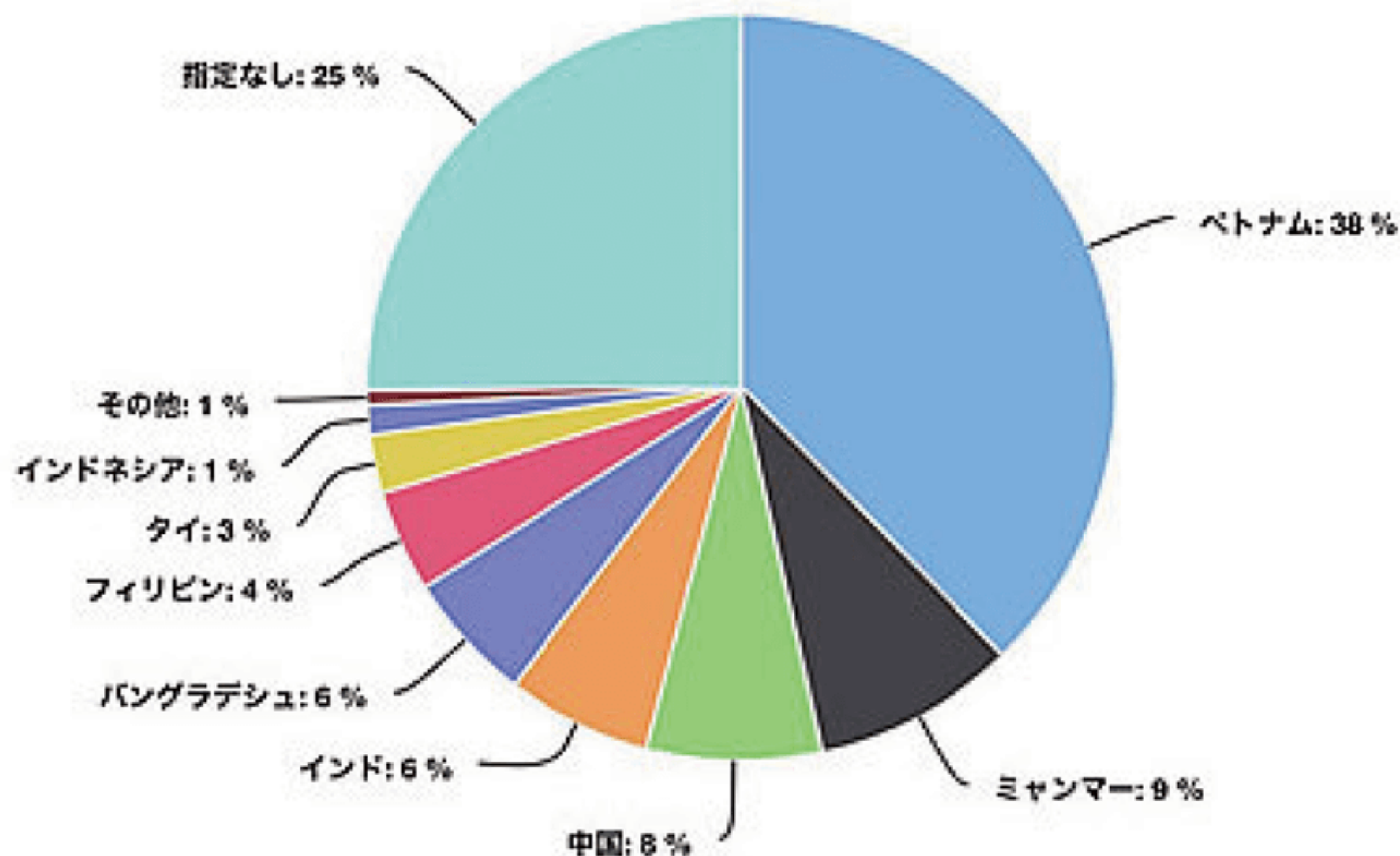


《ベトナムトップニュース》

ベトナム「一極集中」変わらず＝中・比が後退、競争激化－リソース社「オフショア開発白書」

海外進出支援プラットフォーム「Digima～出島～」を運営するResorz（リソース）が11日発表した「オフショア開発白書」（2018年版）によると、システムやアプリなどの開発を海外委託する日本企業の国別人気ランキングで、ベトナムが全体の38%を占めトップの座を維持した。2位はミャンマー（9%）で、中国（8%）は3位となった。4位はインドとバングラデシュ（各6%）、6位フィリピン（4%）、7位タイ（3%）、8位インドネシア（1%）などだった。「（国別の）指定なし」（25%）を除くと、日本のオフショア開発企業の実に50%以上がベトナムを委託先に希望する「一極集中」の傾向が続いている。（グラフ参照）



国別割合（Resorz提供）